



公立保育所の役割と 今後のあり方について

いちじょうの会 吉田 みな子

問 今年度、市は勝瀬保育園の民営化に向けた予算を組みました。私は、2018年9月の文教社会常任委員会で、民営化の方針は市民の意見をよく聞くよう求めました。保護者説明会をどのように行ったのか伺います。

答 (保健福祉部長) 今年2月の説明会では、保護者の方から保育の引き継ぎに関する意見がありました。緊急事態宣言解除後の7月、8月に2回説明会を開催しましたが、小まめなやりとりが一時的に中断したと認識しています。引き継ぎ保育を半年間から1年にするなど子どもたちのことを最優先に考えて、民営化に向けた調整を進めています。

問 3月議会で市長は民営化の了承はおおむね得ていると答弁しましたが、その理由と賛否をとられたのか伺います。

答 (保健福祉部長) 平成30年に議会などで「公立保育園のあり方」を報告し理解と周知が図れたと認識しています。

答 (保健福祉部次長) 賛否はとつておりません。

問 保護者説明会では、民営化は議会で決まったことだと、市から説明があり、その後訂正されたそうですが、保護者の皆さんは納得されていないのではないかですか。

答 (保健福祉部次長) 財政的な部分や将来の保育需要など、民営化の意義はおおむね理解を得ていると思いますが、保護者の方々からは考える時間をいただきたいと言われており、協議している状況です。

問 市は、年度内に事業者選定を進めていきたいと答弁されていますが、スケジュールありきでなく、もっと意見を聞いて慎重に進めていくべきではないですか。

答 (保健福祉部長) すでに保護者に配布している「公立保育園のあり方」に沿って事業を進めてまいります。

その他質問

- ・新型コロナウイルス感染症対策における個人情報の取り扱いについて
- ・新型コロナウイルス感染症の検査体制の拡充について



文化財の保護と 今後の活用について

政進会 池亀 幸男

問 来年、相模国分寺跡が国指定史跡となつて100周年を迎える。国分寺は約1300年前の奈良時代、741年に聖武天皇が社会不安を仏教の力で取り除こうと、国分寺建立の詔を出しました。この詔にならう相模国では、海老名の地に国分寺・国分尼寺を建立しました。国分寺は国府の近くというのが一つの条件になっていますが、当時国府は平塚にあつたとされ、相模国では国府から離れた海老名の地が選ばされました。地盤が固く、相模川の水害からも逃れることができる事が選ばれた理由です。

この海老名が誇る相模国分寺の歴史を広く、長く後世に語り継ぐことは今生きる市民にとって大切な役割だと思います。一部では国分寺再建を望む声もありますが、この史跡の今後の活用についてお伺いします。

答 (教育部長) 史跡相模国分寺跡の復元については、周辺は住宅地であり、65メートルの七重の塔を復元することは難しいと考えます。その他の建物や回廊についても工事費や維持管理も考えると難しく、今後はVRなどIT技術を活用しながら復元を目指してまいります。

海老名を代表する貴重な歴史資産として後世に継承するため、公有地化を進め、保存、活用に努めています。来年迎える国指定史跡の指定100周年では、記念の活用事業を計画し、まず相模国分寺復元VRコンテンツの作成を考えています。これは古代の相模国分寺を3Dのコンピューターグラフィックで作成し、数分間のプログラムをVRゴーグルなどで体験するものです。また、併せて記念講演会の開催も予定しています。



オンライン授業に向けた 取り組みについて

政進会 志野 誠也

問 6月議会の一般質問の中でお願いした、家庭の通信環境調査の結果について伺います。

答 (教育部専任参事) 6月下旬に市内全児童生徒の保護者を対象に調査し、家庭にWi-Fi環境が整っている割合は約94%、子どもが学習に使用できるタブレット端末などがある割合は約83%であります。

問 現時点では学校が臨時休業になつた場合、タブレット端末の貸出などでオンライン授業などの対応が可能かどうか伺います。

答 (教育部専任参事) 現時点ではLTEモデルのタブレット端末が1740台整備されており、緊急時には積極的に活用していくと考えています。不足分は時間をずらして使用するなどの工夫により対応は可能と考えています。

問 オンライン授業を見据えて、実際に学校と家庭をつなげる試みを検討しているのかについて伺います。

答 (教育部専任参事) 土曜授業の日の朝に学校と家庭をオンラインでつなげ、オンラインホームルームを行った後に登校する取り組みを行う学校があります。これは家庭にあるICT機器を使用するため、機器の設定や通信の不具合などがあることが予想されますが、臨時休業を想定して課題を整理したいと考えています。

問 オンライン授業を見据えて学校ではどのような準備を進めているのか伺います。

答 (教育部専任参事) 学校にはWEBカメラやヘッドセットなどを配備し、オンライン授業を行う準備を整えています。また、教室に入れず別室登校をしている児童がタブレット端末を使用してリアルタイムで教室の授業を視聴できる支援や、教室で児童に1人1台のタブレット端末を持たせ、オンライン授業の練習を行つた学校もあります。